

☆くしろ市議会だより

お伝え
します

市議会の
こと

平成 24年2月1日

2012 2 FEB

No.28

発行 釧路市議会
編集 議会広報特別委員会
釧路市黒金町7丁目5番地(議会事務局)

TEL 31-4581 FAX 23-7679

メールアドレス
gi-gikai@city.kushiro.hokkaido.jp

URL ホームページアドレス
http://www.city.kushiro.hokkaido.jp/
(釧路市ホームページからクイックリンク「釧路市議会」へ
アクセスしてください)

(次回の2月定例会は、2月24日(金)午前10時
から開会の予定です。)

3常任委員会が行政視察を実施 〜先進事例などを調査〜

総務文教・経済建設・民生福祉の各常任委員会所属議員が、10月から11月にかけて、今後のまちづくりに向けての参考とし、議会議論と委員会活動を一層充実させるために、各地の優れた先進的な取り組みなどを調査してきました。

各常任委員会の報告概要を、次のとおりお知らせします。

総務文教常任委員会

10月31日から11月3日までの4日間の日程により視察し、神戸市では、阪神・淡路大震災経験後の防災拠点整備の状況や、市民への防災意識啓発の取り組みを、宝塚市では、教育振興基本計画と子どもたちの学力向上に向けての取り組みを、京都市では、小中学校耐震化事業へのPFI導入についての事例と、全庁きょうかん実践運動による市役所改革の内容を、それぞれ調査してきました。

※全庁きょうかん実践運動とは、市民感覚を生かした市政運営や職員の意欲向上のため、市民が実際に職場を訪問・評価し、それを受けての業務改善を行う、京都市独自の運動。

【参加議員】

土岐政人・三木 均・山口光信
草島守之・秋田慎一・月田光明
畑中優周・松尾和仁・石川明美
渡辺慶藏



総務文教常任委員会視察●京都市「PFI事業先進事例」

経済建設常任委員会

10月24日から27日までの4日間の日程により視察し、宮崎市では、口蹄疫・鳥インフルエンザへの実際の対処方法や国・県との連携を、志布志市では、国際バルク戦略港湾に向けた取り組みを、柳谷集落(通称やねだん)では、300人ほどの集落が力を合わせて行政に頼らないで村おこしに成功した例を、ゆうかり学園では、障がい者が農畜産業を営み地域と密接につながっている様子を、それぞれ調査してきました。

【参加議員】

鶴間秀典・松橋尚文・高橋一彦
黒木 満・村上和繁・戸田 悟
大島 毅・佐藤勝秋
(宮下健吉議員は都合のため不参加)

民生福祉常任委員会

11月9日から12日までの4日間の日程により視察し、飯田市では、市民ファンドを活用した太陽光市民共同発電事業、地域の気候風土等を活かした環境共生型モデル住宅などの公民協働による環境政策の取り組みを、化石燃料ゼロハウス風の学舎では、NPO法人による自然エネルギー利用の取り組みを、佐久総合病院では、訪問診療等による地域に密着した医療・保健活動の取り組みを、それぞれ調査してきました。



民生福祉常任委員会視察●飯田市「化石燃料ゼロハウス『風の学舎』」



経済建設常任委員会視察●志布志市「志布志港の国際コンテナターミナル」

査してきました。

※市民ファンドとは、広く一般市民等からの寄附や出資を募集して設立された基金や資金であり、寄附や出資という形で多くの人からの協賛を得て公益的・社会的な事業や活動などを実施する仕組み。

【参加議員】

宮田 団・金安潤子・菅野 猛
続木敏博・森 豊・上口智也
松永征明・梅津則行・酒巻勝美

台北市議会を訪問

10月28日から11月1日までの台湾・台北市訪問団の一員として、市議会を代表して参加した黒木満議長はじめ松橋尚文、金安潤子、森 豊の各議員が10月31日台北市議会を公式訪問しました。

施設見学後の台北市議会議員との懇談では、黒木議長から、今後の両市議会の双方向交流を提案、将来に向けた姉妹都市交流等の話をし、周柏雅台北市議会副議長からは、友好的かつ前向きな返事を受けました。



「台北市議会での懇談の様子」

党派略称説明

自民ク 自民クラブ

市民連 市民連合議員団

公明 公明党議員団

共産党 日本共産党議員団

自新ク 自由新政クラブ

市政ク 市政クラブ

政進会 政進会

議会日程	
11/21	石炭対策特別委員会
11/25	議会運営委員会
12月定例会 (会期13日間)	
12/1	市政報告 提案説明 質疑・一般質問
12/2、5	質疑・一般質問
12/6~9	常任委員会審査
12/13	常任委員会採決 委員長報告 本会議採決

12月1日開会し、12月13日閉会した釧路市議会12月定例会。23年度一般会計補正予算案など17件の議案が提出され、16件を原案どおり可決、「釧路市フィットネスセンター条例を廃止する条例」1件を賛成少数で否決しました。(市長提出議案の否決は昭和51年以来35年ぶり)そして、議員(委員会)提出の意見書8件を原案どおり可決、陳情3件を採択しました。(詳しくは4面の審議結果をご覧ください)

フィットネスセンター・市立阿寒病院などで大きく動いた12月定例会

12月定例会の一般質問は、12月1日から5日までの3日間、15人の議員が登壇し、市政全般について質しました。

今回の質問項目は、「フィットネスセンター」、「市立阿寒病院」、「農業振興対策」の3点を多くの議員が取り上げ、その後の委員会審査も含め、活

多くの方々が傍聴・閲覧

今回の議会では、多くの市民の皆さまに関心を示していただき、本会議と委員会合わせて146人の方々が傍聴されました。

また、市議会ホームページのトップページを11月1日にリニューアルしましたが、閲覧される方も11月中は900人程度だったのが、議会中継される会期中では4,300人を超

発な議論となりました。

また、10月に開催された議会報告会で市民の皆さまから寄せられた声や、「PFI事業」、「指定管理者などへの第三者評価制度の導入」、「太陽光発電導入」、「防災対策」など多くの提案や質問もありました。

える多くの方々が閲覧されました。

今後とも、より多くの市民の皆さまに議会のことを理解していただくために、また、私たち議員が開かれた議会を目指す上でも、傍聴、もしくはホームページを閲覧していただきたいと願っております。

なお、議会傍聴の際は、厳粛な議場なので、大きな声での私語や拍手をしないなどのルールは守っていただきますようお願いいたします。

本会議

質疑・一般質問

今定例会では、12月1日から、3日間にわたり、15人の議員により質疑・一般質問が行われ、12人が一問一答、3人が一括方式を選択しました。その中から主な質問と答弁をお知らせします。(質問順に掲載)



自民ク 山口 光信議員

問 PFI導入可能性調査業務委託報告書は、気候などの違いもある京都市を参考事例にしているようだが、市独自で地元事業者の収益が上がるような取り組みをするのか。

答 仮にPFI事業を導入するとした場合は、市の過去における耐震補強や大規模改修の事例を十分に参考にしながら、工夫、検討していきたいと考えている。



市民連 大島 毅議員

問 フィットネスセンターに関し、これまでの議会での議論や市民側との協議・提案を踏まえ、市長の率直な認識を示してほしい。

答 市としては、施設の老朽化や運営上の課題等を総合的に判断して、今議会に廃止の提案をした。今後、他施設での受け入れ体制整備に向けた準備や、跡スペース利用の検討作業に努めていきたい。



公明 秋田 慎一議員

問 高齢者バス等利用助成事業において、市民要望が多いタクシー券の全市拡大を強く求めるが、市の考えを示してほしい。

答 タクシーの利用助成は、バス路線が少ない阿寒・音別地区に限定しており、釧路地区では、より多くの外出機会が確保できるバスの利用助成のみとしているところであり、現時点での全市拡大は難しいと考える。



自新ク 戸田 悟議員

問 道東の拠点都市としての視点と果たすべき役割として、観光・物流・まちづくり戦略への高速交通ネットワークを意識した地域戦略の構築の研究と実践をすべきである。

答 大変大事な提言である。観光は広域連携で着地型を図り、物流は道東自動車道など陸上輸送網との一体的な取り組みを検討し、庁内関係各部署の連携により進めたい。



市政ク 金安 潤子議員

問 (旧)釧根地域婦人会館の機能と男女平等参画推進機能を持たせる女性センター(仮称)の設置に向けた、これまでの動きと今後の予定はどうか。

答 現在は、男女平等参画推進条例の周知と理念の浸透が最優先と考えている。今後、実施を予定している市民意識調査の結果などを踏まえて、センター設置についても検討したい。



政進会 松永 征明議員

問 市立阿寒病院の経営形態を明確に示してほしい。

答 庁内関係部署により慎重な協議を行った結果、現有の介護療養病床20床を継続させ、地域の医療・福祉サービスを継続すべきと考えたが、現状の同病院で運営を続けることは困難であることから、まずは民間による機能維持の可能性を探ることが市の責務と判断した。



共産党 村上 和繁議員

問 市立阿寒病院に関し、三慈会から提出された民営化後3年間の収支計画では、人件費を半減すると聞いたが、これでは、医師・医療スタッフの雇用を守れないのではないか。

答 同病院は、これまでも努力を重ねてきたが、改善に至らず、財政負担も多くなってきたとされており、医師・医療スタッフにしっかりと説明し、理解を求めていきたい。



自民ク 三木 均議員

問 東日本大震災で津波の被害を受けた釧路川河口地域にも幣舞橋上流と同様のプロムナードを兼ねた堤防を整備すべきではないか。

答 当地域における津波対策施設の整備は、漁船等の荷役作業に支障を来すため、極めて難しいと考えているが、国・道・市で構成する釧路津波対策事業検討会議で引き続き検討していきたい。

市民連 松尾 和仁議員

問 市民の防災意識を高めるためにも、津波対策の一環として、沿岸部の電柱や街路灯に海抜表示看板を設置すべきと考えるがどうか。

答 市としても、大規模な津波災害の発生に備えて地点ごとの標高を意識して生活していただきたいと考えていることから、24年度に浸水予測区域内を中心に標高表示板を設置する方向で検討を進めている。

自新ク 畑中 優周議員

問 選挙における期日前投票の割合が高くなってきており、投票率向上の観点から期日前投票所の拡充をすべきと考えるがどうか。

答 期日前投票者数は選挙の都度増加している傾向にあることから、市民サービスの向上、投票率確保のためにも期日前投票は有効と考えており、地域バランスに配慮しながら拡充の方向で検討したい。

政進会 鶴間 秀典議員

問 道が子育て支援策として開始した「赤ちゃんのほっとステーション」事業に、市として取り組んでほしいがどうか。

答 市としては、既に授乳やオムツ替え等のできる公共施設をホームページで紹介しているが、道の事業とも連携を図りながら、民間施設へのさらなる働きかけも含め、前向きに取り組んでいきたい。

共産党 石川 明美議員

問 財政健全化推進プランにおける第三セクター等改革推進債の15年間の計画金利と実際の借入金利による差額をフィットネスセンター改修の財源として充てることができないか。

答 今年度の借入金利と同率で試算すると、差額は約6億2千万円となるが、同プラン全体での調整が必要である。

自民ク 菅野 猛議員

問 市内における酪農経営の厳しい状況をしっかりと受け止め、市としても、これに対する支援措置をとるべきと考えるがどうか。

答 市内における酪農経営が厳しい状況にあることは認識している。生乳生産の基盤強化は重要であり、どのような対応・対策が可能か、24年度予算編成の中で議論し、検討していきたい。

市民連 宮田 回議員

問 市内小中学校や保育園で提供している給食の食材に対し、放射性物質の測定が必要ではないか。

答 学校給食に使用する食材は、食品衛生法に基づき、放射性物質に関する暫定規制値内の食品を調達している。また、保育園に関しては、最大限安全な食材の購入と保護者からの問い合わせ等に対し適切に対応するように依頼している。

共産党 梅津 則行議員

問 長野県飯田市において実施されている「市民共同出資」型による太陽光発電設備の導入を検討してはどうか。

答 これまで、学校施設の改築事業等において太陽光発電設備の設置を進めてきたが、提言のあった民間ファンド的な手法についても参考としながら、他の公共施設への導入について引き続き検討していきたい。

委員会審査

3常任委・1特別委

今定例会では、3常任委員会と1特別委員会の審査が行われました。その中から主な審査内容をお知らせします。

総務文教常任委員会

土岐 政人委員長

釧路市地域防災計画の見直し作業に関して、「市の津波ハザードマップ改訂はいつ頃になるのか。」また、「津波避難計画については最悪の条件を想定するのか。」との質問がありました。

理事者は、「道の津波シミュレーションの見直しは23年度末になると思われ、それを受けての作業になるため24年夏頃までを目標に作業を進めたい。」また、「現在の地域防災計画でも冬場の夜間を想定しており、それに沿った形で整理したい。」と答えました。

経済建設常任委員会

鶴間 秀典委員長

今定例会においてフィットネスセンターを廃止する条例が提案され、関連する継続審査中の陳情2件とあわせて審査を行う中で、「利用者との合意もなく、具体的な利用者対策も示さずに廃止を提案しているが、利用者の思いを考慮した対応が必要だったのではないか。」との質疑がありました。

市長は、「利用者との話し合いの中で、施設の存廃が議論の中心となり、利用者対策については議論が進められずに示せなかった。今後は、利用者の意見を聞きながら、でき得ることは検討していきたい。」と答えました。

民生福祉常任委員会

宮田 回委員長

市立阿寒病院について、「民間による機能維持の可能性を探る考えが示されたが、経営改善のシミュレーションや直営の有床診療所化の検討結果がない中で、どのように判断したのか。」との質問がありました。

市長は、「直営での維持は医師確保の点からも困難であり、市立阿寒病院の今後を心配する市民に早く市の考えを示すことが必要と考える」と

もに、地域の医療と福祉を守っていくことを重視する中で、市内唯一の介護療養病床20床を維持しながら、民営化を視野に機能を確保していく判断に立った。」と答えました。

石炭対策特別委員会

畑中 優周委員長

「国・道・市・釧路コールマインによる新たな協議会組織の立ち上げが検討されているようだが、閉山に向けてたものとならないよう、市の立場を堅持すべきであると考えているがどうか。」との質問がありました。

理事者は、「国・道との打合せ会議では採炭事業の継続に向けての釧路コールマインの経営自立化と、それに対する支援についての協議を行った。国・道の協力関係は必要なもので、協議の場を持つことは歓迎すべきことであり、その上で市の考えをしっかりと訴えていきたい。」と答えました。



「釧路コールマインでの採炭の様子」

平成23年 第6回 12月定例会審議結果

◎ 全会一致で可決(同意)となったもの(22件)

市長提出議案			
予算	平成23年度一般会計補正予算	条例	市営住宅条例の一部を改正する条例
	平成23年度介護保険特別会計補正予算		水道事業給水条例等の一部を改正する等の条例
	平成23年度動物園事業特別会計補正予算		農業用水道条例の一部を改正する条例
	平成23年度病院事業会計補正予算		農業用簡易水道事業給水条例の一部を改正する条例
条例	農業委員会に関する条例の一部を改正する条例	市道	市道路線の認定の件(4路線)
	市議会議員その他非常勤職員等の公務災害補償等条例及び消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例	人事	人権擁護委員候補者の推薦について意見を求める件(2人)
	景観条例の一部を改正する条例	その他	土地処分の件(8筆) 観光国際交流センター及び幸町緑地の指定管理者の指定の件
議員提出議案			
意見書	国民生活の安心と向上を図る各種基金事業の継続を求める意見書(提出先:内閣総理大臣ほか3大臣)		
	視覚障がい者からテレビを遠ざけない地上デジタルテレビ放送を求める意見書(提出先:内閣総理大臣ほか2大臣)		
	防災会議に女性の視点を取り入れることを求める意見書(提出先:内閣総理大臣ほか3大臣)		
	平成24年度農業予算編成並びに税制改正に関する意見書(提出先:内閣総理大臣ほか1大臣)		
	APECでのTPP交渉参加表明に抗議する意見書(提出先:内閣総理大臣ほか5大臣)		
障がい者の権利を保障する新たな総合福祉法の制定を求める意見書(提出先:衆・参議院議長、内閣総理大臣ほか1大臣)			
委員会提出議案			
意見書	地方消費者行政に対する国の実効的支援を求める意見書(提出先:衆・参議院議長、内閣総理大臣ほか1大臣)・民生福祉常任委員会提出		

◎ 賛否が分かれたもの(3件)

○賛成 ×反対

市長提出議案									
件名	会派名〔()内は議員数〕※	自民ク(6)	市民連(6)	公明(4)	共産党(3)	自新ク(3)	市政ク(2)	政進会(2)	審議結果
条例	廃棄物の減量及び処理等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	×	○	○	○	可決
	フィットネスセンター条例を廃止する条例	×	×	○	×	○	○	○	否決
議員提出議案									
意見書	放射線測定器購入に対する補助金を求める意見書(提出先:衆・参議院議長、内閣総理大臣ほか5大臣)	○	○	○	○	×	×	×	可決

◎ 請願・陳情(3件)

○採択 ×不採択

件名	会派名〔()内は議員数〕※	自民ク(6)	市民連(6)	公明(4)	共産党(3)	自新ク(3)	市政ク(2)	政進会(2)	審議結果
陳情	地方消費者行政に対する国の実効的支援を求める意見書の件	○	○	○	○	○	○	○	採択
継続審査中の陳情	フィットネスセンターの存続を求める件	○	○	×	○	×	×	×	採択
	フィットネスセンターの存続に関する件	○	○	×	○	×	×	×	採択

※自民クの議員数は7人ですが、黒木議長が採決に加わっていないため6人としています。また、市政クの議員数は3人ですが、宮下議員が欠席しているため2人としています。

11月1日、市議会ホームページをリニューアルしました。市議会からのお知らせや各種情報にアクセスしやすいページとなりましたので、ぜひご利用ください。



11月24日、東京農業大学生物産学部吉田穂積教授を講師に「道東地域の農業」についての研修が網走市において開催され、当市からは9人の議員が参加しました。

北海道市議会議長会
道東支部議員研修会に参加



「エゾシカ柵防護ネットを視察の様子」

11月4日、釧路地方森林・林業・産業活性化推進議員連盟協議会主催の第11回「森林を見る会」が市内音別地区の鹿島山林内で開催され、当市から11人の議員が参加し、エゾシカの食害を防止する柵ネットやカラマツ高齢人工林を視察しました。

「森林を見る会」に参加